

HEIWA REAL ESTATE GROUP

平和不動産株式会社
平和不動産グループの成長戦略

2026.2.2

証券コード：8803

上場市場：東証プライム、札幌証券取引所、名証プレミア、福岡証券取引所

Our Purpose 人々を惹きつける場づくりで、未来に豊かさをもたらす



兜町と言えば…

証券街・金融街

平和不動産と言えば…

東証の大家



現在の兜町

- ・週末は若者で賑わう
おしゃれな街
- ・金融のプレーヤーも
従来の証券会社だけではなく、
スタートアップ系の若き起業家が集う街





東京証券取引所ビル市場館 立会場



東証アローズ



**街全体の開発・再活性化を
手掛けるデベロッパーとなる決意
— 2011年 —**

大阪・名古屋での開発実績







日本橋兜町街づくりビジョン

「人が集い、投資と成長が生まれる街」

— 2014年 —



成田空港

中央区

街づくり対象エリア

10万 m^2

日本橋兜町・茅場町
街づくり対象エリア

東京駅まで直線距離 約800m
最寄駅日本橋から 羽田空港まで28分
成田空港まで51分

※ 乗換時間・待ち時間は含まず。

街の特性を生かす

- ・明治時代、渋沢栄一らがコト始めを行った街
- ・昭和の金融街



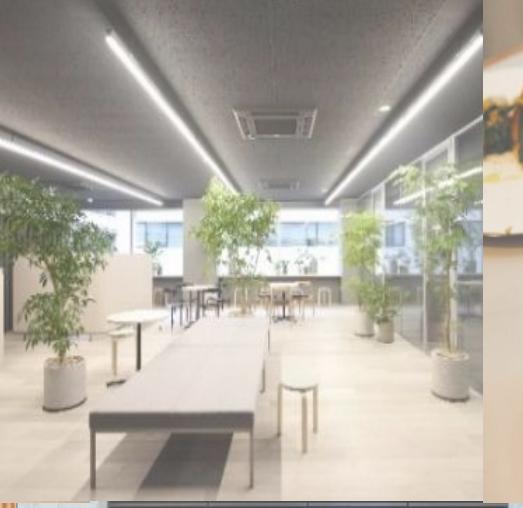
FinGATE



証券マンのモノトーンの街

から

カラフルな街へ



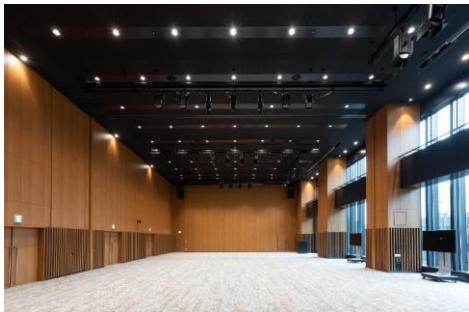
1. 日本橋兜町・茅場町の街づくり

投資を、そして感性を一歩先へ。 この街から、新しい風を。

渋沢栄一らがひらいた株式マーケットの街は、
日本経済の中心で歴史を紡いできた。
この街がまとう「コトはじめ」の文化を未来につないでいくために、
これからの中橋兜町・茅場町は、投資と成長をライフスタイルに変えていく。
金融をアップデートし、国内随一のインベストメント・シティへ。
そして、さらにひろがりのある街へ。
もっと投資をカジュアルに、もっと街をカラフルに。
多彩な個性が行き交い、クリエイティビティが高まる。
化学反応が起こり、大小さまざまなイノベーションが生まれる。
ビジネスだって、遊びだって楽しめる場を、みんなでつくろう。
人々の感性を刺激する、世界のどこにもない場づくりを、この街から。

日本橋兜町・茅場町の街づくり

(1) 街の新たなランドマークビルKABUTO ONE (2021年8月開業)



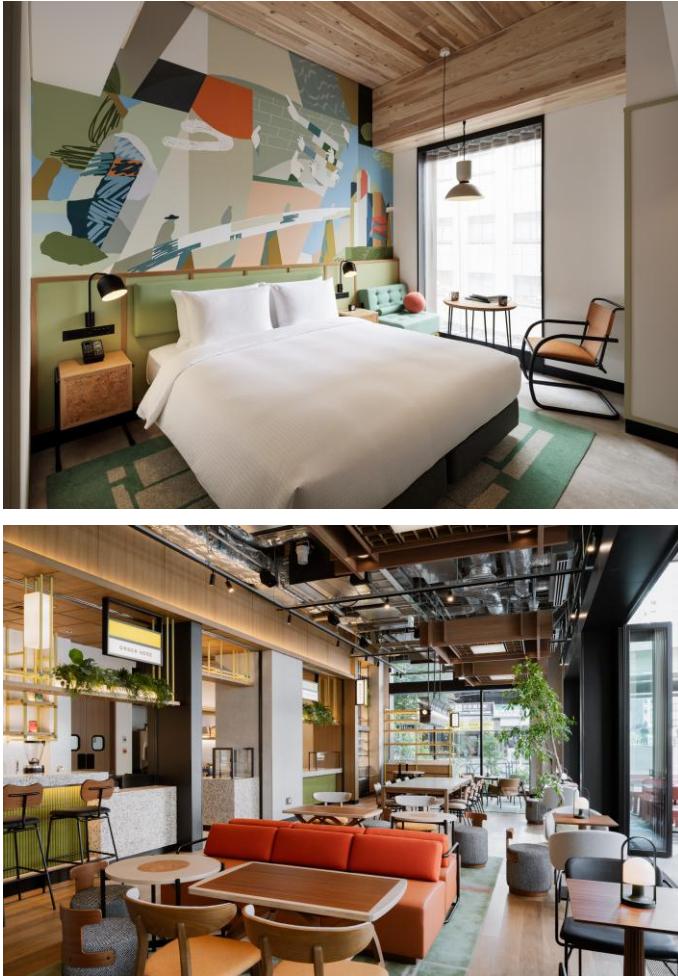
- 国家戦略特区認定プロジェクトとして、容積率1,000%に緩和。
- 1階アトリウムに世界最大規模のキューブ型大型 LED ディスプレイ「The HEART」を整備。低層階には、投資家と企業の対話交流拠点となるカンファレンス「KABUTO ONE HALL & CONFERENCE」、ライブラリー・ラウンジ「Book Lounge Kable」、大型フードホール「KABEAT」、コミュニティカフェ「GARDEN HOUSE COFFEE」等を導入。
- 開業後は、金融・投資に関連したイベント等が開催され、街の新たなランドマークビルとして地域の賑わい創出および活性化に貢献。

「KABUTO ONE」概要

所在地	東京都中央区日本橋兜町7番1号（住居表示）
交通	東京メトロ東西線・日比谷線「茅場町」駅直結
主要用途	事務所、店舗、集会場、貸会議室、駐車場
階数	地上15階、地下2階、塔屋2階
構造	地上S造、地下SRC造（一部S造）中間層免震構造
延床面積	約39,208m ² （約11,860坪）
事業者	平和不動産株式会社、株式会社ヤマタネ、ちばぎん証券株式会社

日本橋兜町・茅場町の街づくり

(2) キャプション by Hyatt 兜町 東京（2025年10月開業）



- 東京初のハイアットの最新ホテルブランド「キャプション by Hyatt」を誘致。
- 木造ハイブリッド構造の一棟建てホテルであり、2025年6月に竣工、2025年10月7日に開業。
- 外資系ホテルブランドにより運営される木造ハイブリッド構造の宿泊施設として初めて、国土交通省の「令和4年度サステナブル建築物等先導事業（木造先導型）」に採択。さらに、令和7年度木材利用推進コンクールにて『林野庁長官賞』を受賞。

「キャプション by Hyatt 兜町 東京」概要

所在地	東京都中央区日本橋兜町12番地
交通	東京メトロ東西線・日比谷線「茅場町」駅 徒歩1分 東京メトロ銀座線・都営浅草線「日本橋」駅 徒歩2分
敷地面積	1,093.59m ²
延床面積	9,977.66m ²
階数	地上12階、地下1階、塔屋1階
構造	木造ハイブリッド構造
客室	195室

日本橋兜町・茅場町の街づくり

(3) (仮称) 日本橋茅場町一丁目 6 地区開発計画



- 2024年10月 当社は三菱地所株式会社、中央日本土地建物株式会社と共同して、中央区に日本橋兜町・茅場町一丁目地区地区計画の都市計画提案を実施し、2025年5月に都市計画決定が告示。
- 東京メトロ東西線・日比谷線「茅場町」駅直結のオフィス、商業および金融拠点の形成に必要な機能などからなる複合ビルを建設するとともに、計画地内の神社境内地を拡張・再整備することで、地域の賑わいの核となる緑豊かなオープンスペースを一体的に整備予定。
- 東京都の推進する「国際金融都市・東京」構想の実現に資する金融関連機能の集積や、地域文化・歴史を活かした街並みの形成、帰宅困難者対応施設の整備等による地域防災力の向上、緑化空間による潤いのある都市空間づくりを実現することで東京の国際競争力と魅力の向上に資するまちづくりに貢献。

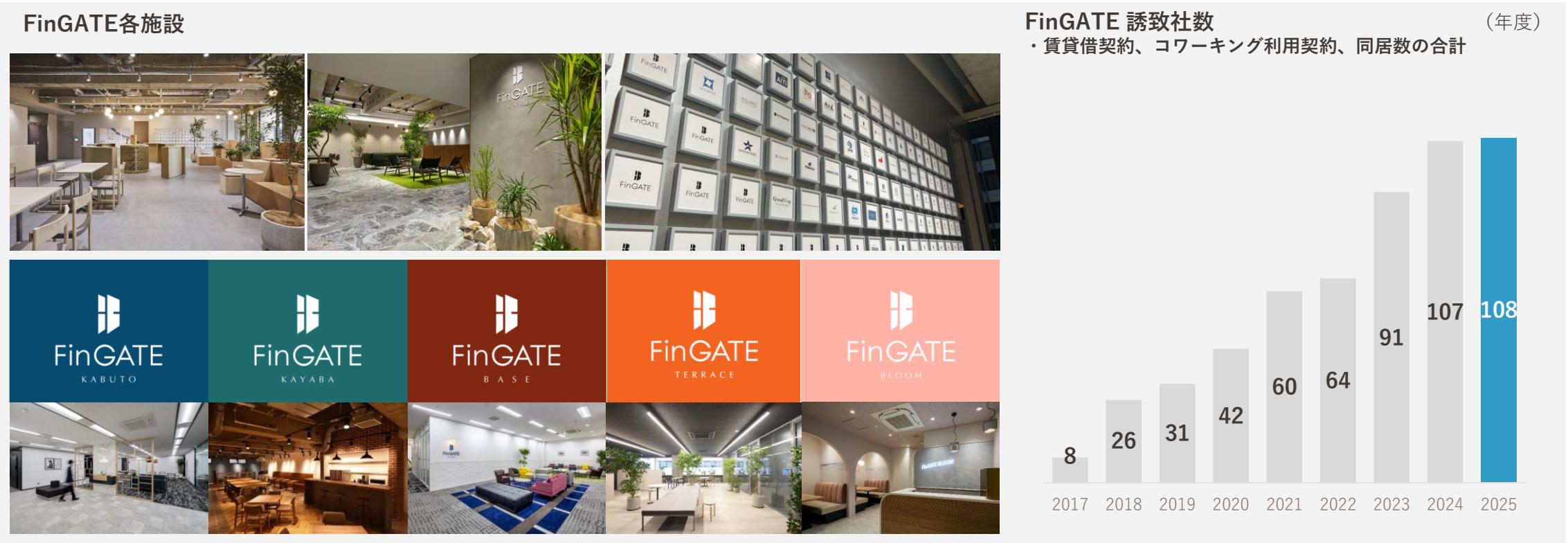
「(仮称) 日本橋茅場町一丁目 6 地区開発計画」概要

所在地	東京都中央区日本橋茅場町1-6番の一部
交通	東京メトロ東西線・日比谷線「茅場町」駅直結
敷地面積	約3,715m ²
延床面積	約41,650m ²
階数／高さ	地上27階、地下3階／約140m
主要用途	事務所、店舗、神社、駐車場等
スケジュール	竣工：2030年度（予定）

日本橋兜町・茅場町の街づくり

(4) FinGATEの展開（「国際金融都市・東京」構想への貢献）

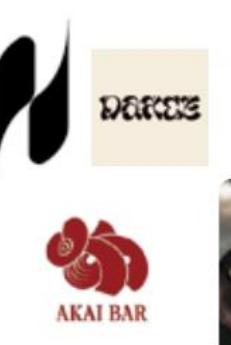
- FinGATEに独立系資産運用会社・Fintechを中心とした金融系スタートアップ等、2025年9月末時点で計108社が入居し、稼働率は100%近い水準を継続しており、国内最大級の金融系スタートアップの集積地としての地位を確立。
- 2025年9月現在、計6つの施設では、オフィス・イベントスペース等のインフラを整備し、また、情報発信機会の創出、ビジネスマッチング、ミドルバッくサービスの導入支援といった入居企業、施設利用者の成長ステージに合わせたサポートを実施。



日本橋兜町・茅場町ブランドの確立

(5) 多様性のある街づくり

- 2020年2月に開業した「K5」以降、新規開発とリノベーションを組み合わせながら、個性あふれる商業店舗の誘致を進め、街の雰囲気をアップデート。
- 2025年においては、小規模な土地を活用した分解・移築が可能な都市木造建築「prewood」などが街に誕生し、さらに多様性のある街へと進化。

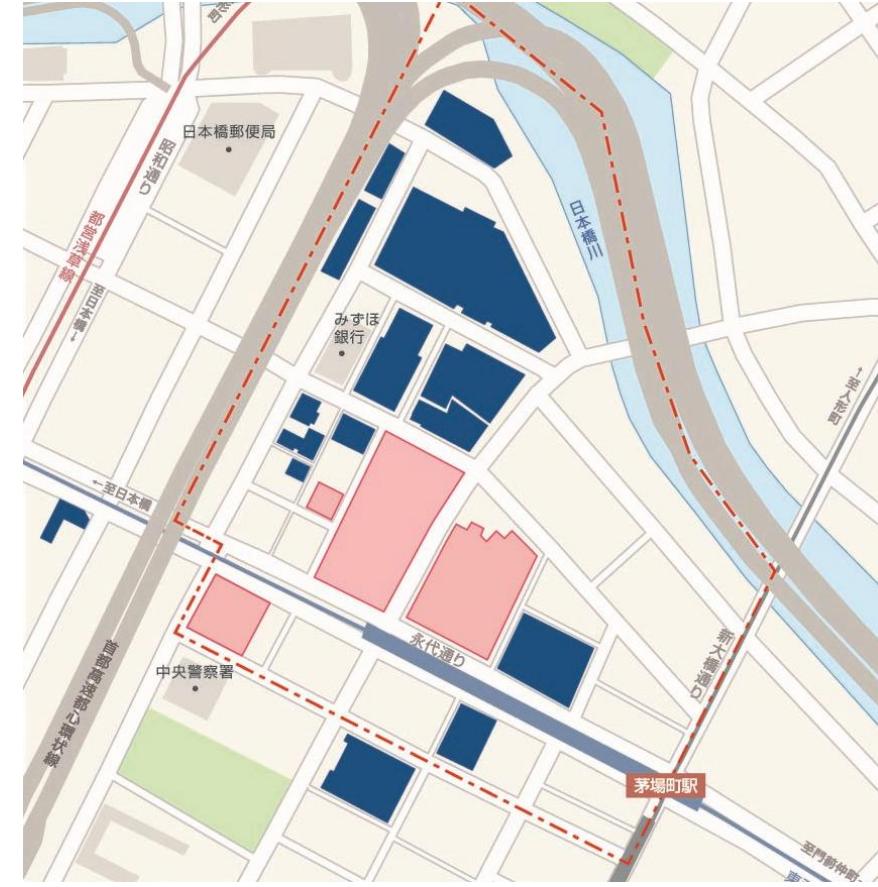
2020	2021	2022	2023	2024	2025				
 ©K5									
K5 国内初の銀行の三代目建物の分館として建てられた大正12年築の歴史的建造物を大規模リノベーション。	KABUTO ONE 日本橋兜町・茅場町のリーディングプロジェクトとして街のランドマークビルをオープン。	KITOKI 当社初の木造・SRC構造のハイブリッド構造のビル。2023年に『ウッドシティ TOKYOモデル建築賞』で「最優秀賞(知事賞)」を受賞。	BANK 旧銀行店舗を改装し、新しいコンテンツとしてBakeryやライフスタイルショップ等を導入したこの街の新たな拠点を形成。	nib/ LAURASIA オフィスとして利用していた旧渋沢栄一邸である日証館の1階を改装し、「食」と「香り」の新たなスペースを同時にオープン。	K5店舗 リニューアル 「K5」が開業5周年を迎えるにあたり、1階をリニューアル。Izakaya: MARUYAMA、カフェ:CAFE DANCE、バー:AKAI BARがグランドオープン。	CASICA KABUTOCHO テーマは“アジアの中の東京”とし、東京らしいスピード感の中に、台湾や中国、タイなどの多彩な文化を再編集。	キャプション by Hyatt 兜町 東京 木造ハイブリッド構造の一棟建てホテルの開発であり、東京で初めて「キャプション by Hyatt」を誘致。「令和4年度ステナブル建築物等先導事業(木造先導型)」に採択。	prewood 狭小地の「種地」において、将来的な移築を想定した「分解可能な都市木造」の開発を目指したプロジェクト。	

ホームタウン日本橋兜町・茅場町における資産の拡大

2000年頃の保有マップ[®]



現在の保有マップ[®]



2. パーパス・長期ビジョン

Group Purpose

平和不動産グループパーパス

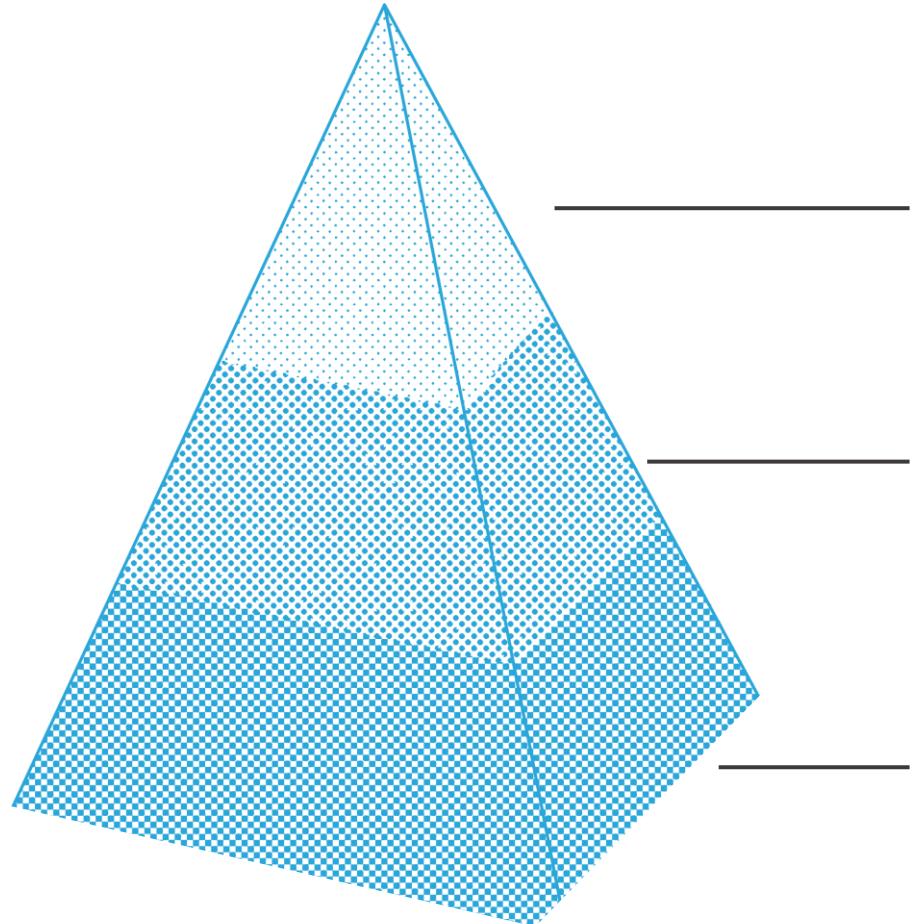
人々を惹きつける場づくりで、未来に豊かさをもたらす

私たちは、場づくりを積み重ねることで街を彩ってきました。グループの仕事に共通する根源的な価値は、さまざまな場づくりを通して、人々を惹きつけること。私たちはグループ一丸となって、魅力的な場づくりを展開します。

私たちがめざすのは、あらゆるステークホルダーの未来に豊かさをもたらすこと。物質的な豊かさも、精神的な豊かさも。かかわるすべての人が、豊かさを実感できる場を、私たちはつくりつづけます。

Group Philosophy

平和不動産グループ企業理念



パーサス

人々を惹きつける場づくりで、
未来に豊かさをもたらす

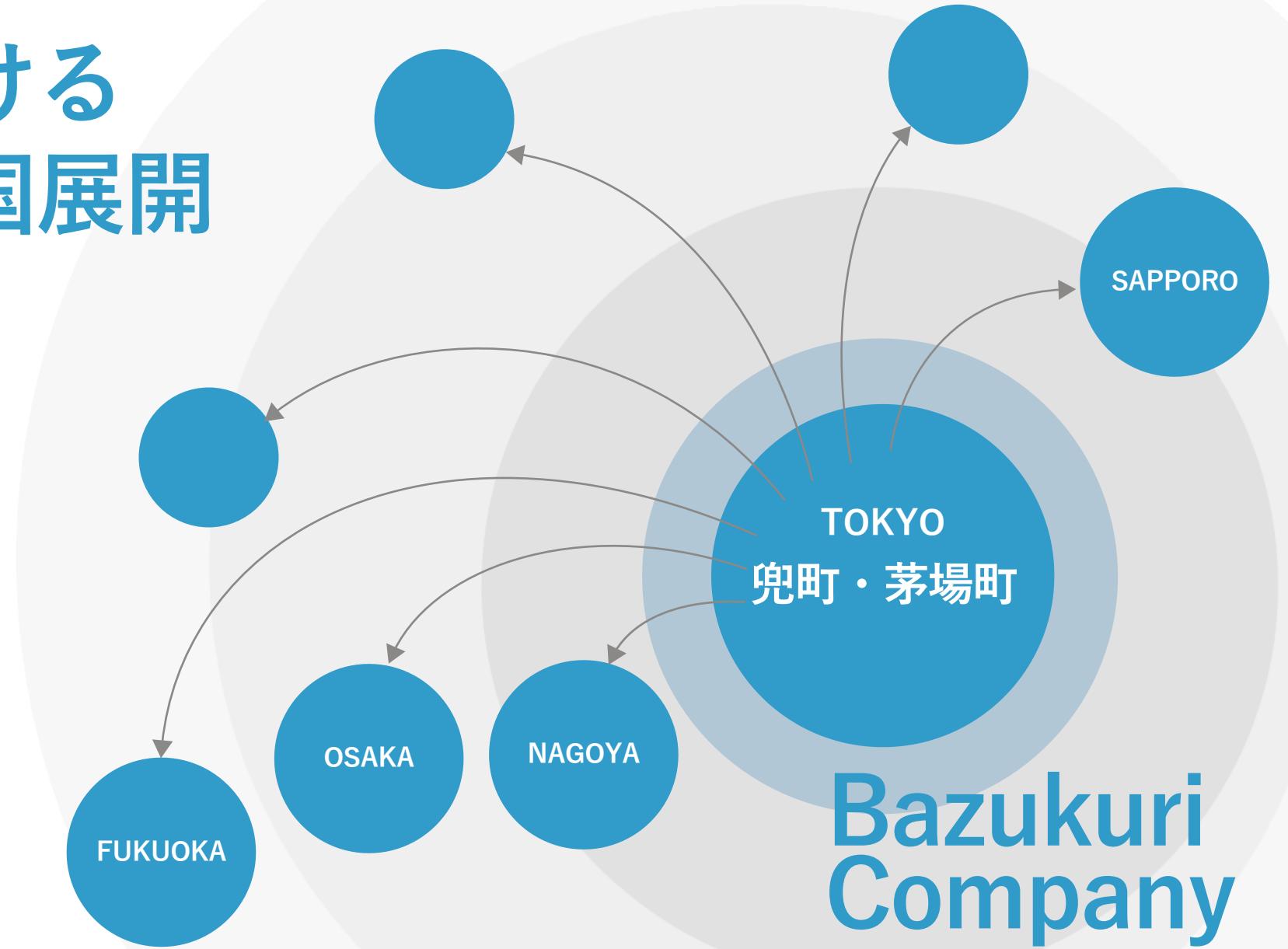
長期ビジョン「WAY 2040」

場づくりの連続で、
非連續な成長を遂げる
“Bazukuri Company” へ

大切にする価値観

信頼 未来志向 共創

人々を惹きつける
場づくりの全国展開



3. 札幌での再開発事業

札幌再開発事業の推進

- 大通西4南地区の再開発および札幌駅南口北4西3地区の再開発プロジェクトを推進。



当社史上最大規模となる札幌再開発プロジェクトの推進

(1) SAPPORO ONE (大通西4南地区第一種市街地再開発事業)



- 2025年10月に新築工事着工。ビジネス競争力を強化する高機能オフィス等の整備により、札幌都心部の中でも中心的な場に位置する本地区に相応しい開発の実現を目指す。
- 上層部ホテルはハイアットが展開する最高級ラグジュアリーホテル『パーク ハイアット』に決定。
- 世界的な建築家である隈研吾氏をデザイン監修者として招聘。
- 当社が参加組合員として取得予定の投資金額は約1,200億円の見通し。

計画概要

所在地	北海道札幌市中央区大通西4丁目
主要用途	業務施設、商業施設、宿泊施設、駐車場、地域冷暖房施設
敷地面積	約5,030m ²
延床面積	約99,800m ²
容積率	約1,650%
階数	地上36階、地下3階
高さ	約185m
構造	鉄骨造、鉄筋コンクリート造、鉄骨鉄筋コンクリート造 中間免震構造を採用
スケジュール(予定)	2029年8月竣工

当社史上最大規模となる札幌再開発プロジェクトの推進

(1) SAPPORO ONE（大通西4南地区第一種市街地再開発事業）

- 「札幌で唯一無二の価値が生まれる拠点にしたい。」「人や街の想いをひとつに結ぶ拠点でありたい。」という想いから、ビル名称は「SAPPORO ONE」に決定。
- 本プロジェクトの推進にあたって、みどりをつなぐアトリウム・テラスによる新たな滞留空間・視点場の整備や、大通以南への新たなエネルギーネットワーク構築を見据えた地域冷暖房プラントの整備を計画。

SAPPORO ONE



【TOPICS】札幌市と「金融エコシステムの強化に係る連携協定」を締結

- 2025年10月22日に札幌市と当社との間で「金融エコシステムの強化に係る連携協定」を締結。
- 札幌市の金融業強化に向けた協力関係を構築し、金融エコシステムの強化と経済活性化を推進していく。



(右から) 札幌市長 秋元克広様、平和不動産株式会社 代表執行役社長 土本清幸

当社史上最大規模となる札幌再開発プロジェクトの推進

(2) 札幌駅南口北4西3地区第一種市街地再開発事業



- 2024年7月に権利変換計画が認可。2025年3月に新築工事着工。
- 道都札幌の玄関口のシンボルとして、新たな賑わいと魅力の創出を目指し、2028年7月の竣工に向けて事業を推進。

計画概要

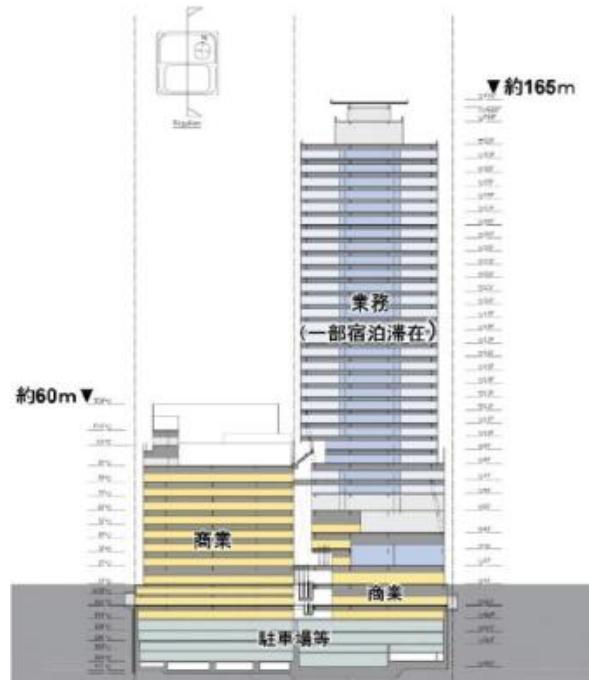
	北棟	南棟
敷地面積	約5,330m ²	約5,330m ²
延床面積	約74,510m ²	約128,270m ²
高さ・階数	約60m・地上9階 地下7階	約160m、地上33階 地下5階
主要用途	店舗、駐車場等	事務所、宿泊滞在 店舗、駐車場等
スケジュール (予定)	2028年7月竣工	

整備方針

地下鉄さっぽろ駅の機能拡張と地下ネットワークの整備による
札幌駅周辺の都市基盤強化

札幌都心のビジネス交流機能強化と賑わいを高める空間形成

札幌駅交流拠点の強靭化を先導するBCDの形成



※記載の情報は現時点の計画・イメージであり、今後の協議・検討により変更となる可能性があります。

4. サステナビリティへの取り組み

サステナビリティへの取り組み

- GHG排出量ネットゼロをはじめとした環境・社会課題の解決に取り組みながら、資産ポートフォリオの競争力を向上させていく。

サステナビリティビジョン

“Bazukuri Company”としての活動により、環境・社会課題の解決に取り組み、各ステークホルダーとの双方向のコミュニケーションを通じて満足度を高めることによって、サステナブルな社会の実現に貢献します。

脱炭素	GHG排出量を2018 年度比で 2025 年度までに 80% 削減 ※1 2050年度までに ネットゼロ 達成※2
レジリエンス	新耐震基準対応ビル： 100% ※3、救命講習資格保有者： 全職員 ※4
健康経営	有給休暇取得率： 70% 以上、健康診断実施率： 毎年100% 等

※1 Scope1+2を対象とする

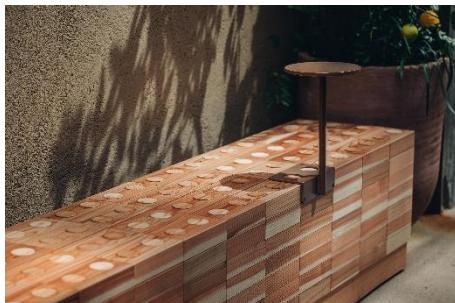
※2 Scope1+2+3を対象とする

※3 再開発前提ビルを除く

※4 役員を除く

日本橋兜町・茅場町の街づくりにおける取り組み

- 2022年竣工の店舗兼オフィスビル「KITOKI」では、ハイブリッド構造（木造およびSRC造）を採用し、国土交通省の「令和2年度サステナブル建築物等先導事業（木造先導型）」に採択事業。オフィス部分にはバイオフィリックデザイン（*）を取り入れ、より心地よく働く環境をセットアップし提供。
- 「KITOKI」は、都市における木材活用の可能性を拓く取り組みとして、2023年に『ウッドシティ TOKYO モデル建築賞』で「最優秀賞（知事賞）」を受賞。また2022年には「2022 年度グッドデザイン賞」「ウッドデザイン賞 2022」「令和 4 年度 木材利用優良施設等コンクール 優秀賞」をトリプル受賞。
- 2025年竣工の「キャプション by Hyatt 兜町 東京」でも、木造ハイブリット構造の採用をはじめとした積極的な環境負荷低減施策の導入により、DBJ Green Buliding認証で5スターを取得。



「KITOKI」

「キャプション by Hyatt 兜町 東京」

Caption
BY HYATT

* “人間にはもともと生物や生気に惹きつけられる心理的傾向がある”というバイオフィリア仮説に基づいた空間デザインの手法

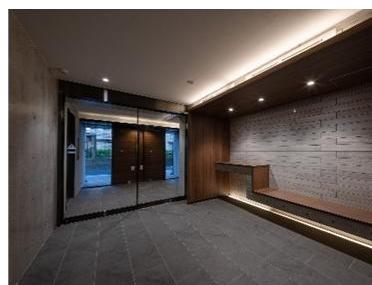
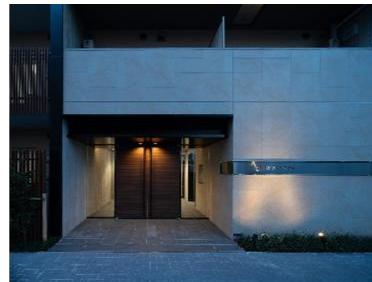
サステナビリティへの取り組み<環境・社会①>

- ORSUS戸越銀座において、温室効果ガス削減の実現に向けた取組みの一環としてZEH-M Oriented の認証を取得。
- 建物の断熱性能を大幅に向上し、高効率な設備等を導入することにより、マンション全体での年間の一次エネルギー消費量を現行の省エネ基準値より35%削減（再生エネルギーを除く）し、「建築物省エネルギー性能表示制度：BELS（ベルス）」において最高ランクの5つ星評価を受け、ZEH-M Oriented認証を取得。
- また、太陽光発電パネルと蓄電池を組み合わせたシステムを導入し、共用部の照明や非常時用コンセント等に使用。

<外観>



<エントランス・ホール>



ORSUS



新たな生活様式

- ・1DKなど広い間取りを中心とした、シングル・ディンクスのどちらでも生活しやすい空間の追求
- ・各住戸無料インターネット/Wi-Fi環境整備
- ・宅配ボックス、置き配対応の拡充

環境、SDGs

- ・再生可能エネルギー100%電力を活用した共用部
- ・ランニングコストを低減する省エネ設備の導入

安心、安全

- ・防犯カメラ等のセキュリティの強化
- ・AEDの設置や地震水害における防災備品の備え

※各物件の間取りや仕様等による例外あり

サステナビリティへの取り組み<環境・社会②>

- GHG排出量ネットゼロをはじめとした環境・社会課題の解決に取り組みながら、資産ポートフォリオの競争力を向上させていく。
- 東京証券会館の屋上において、菜園を含む屋上ファームガーデンを整備。2022年10月以降、食育スクールである「アーススコーレ」を開催。
- サステナビリティ経営へのコミットメントをより強化することを目的として、評価型融資およびサステナビリティ・リンク・ローン（SLL）による資金調達を実施。

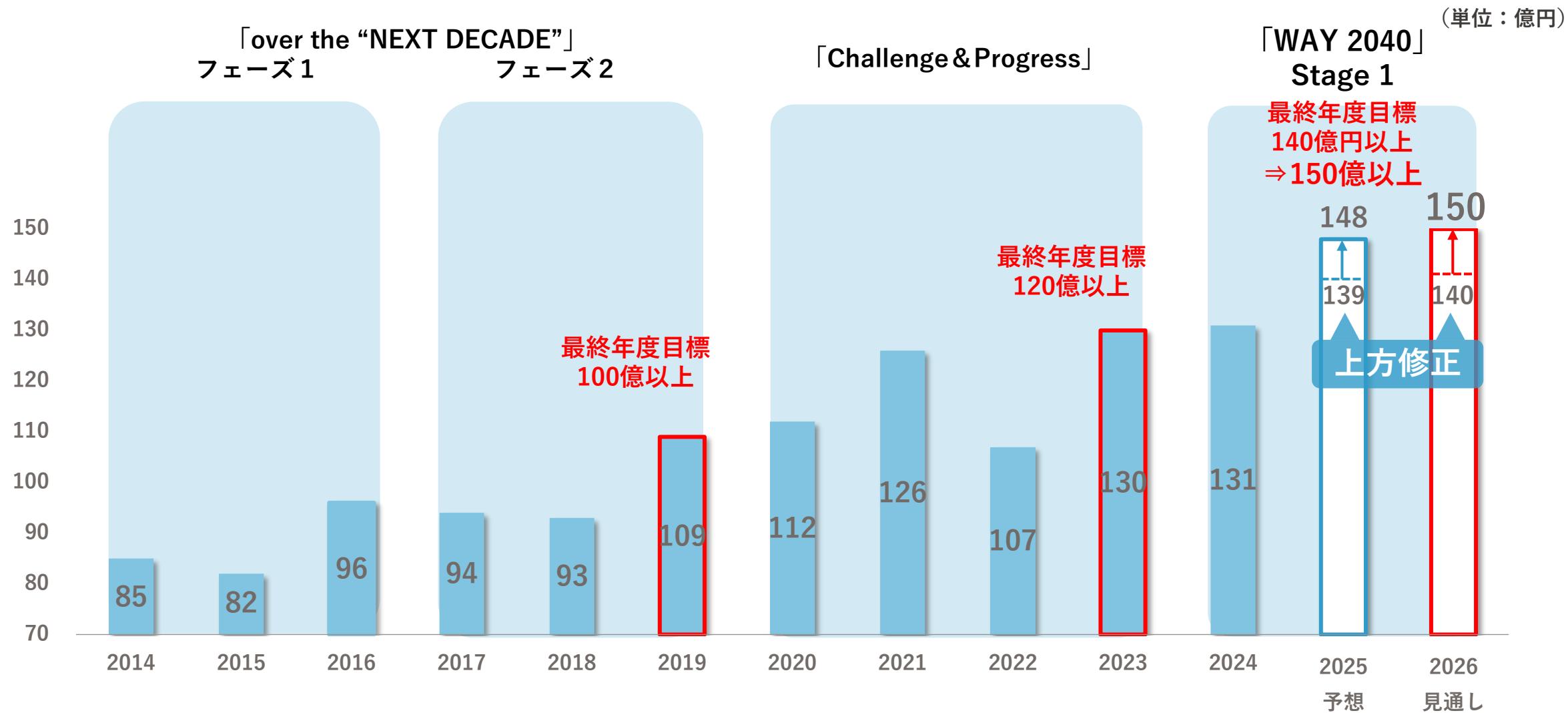
「Edible Kayabaen」プロジェクト	SPT (サステナビリティ・パフォーマンス・ターゲット)	サステナブルファイナンスの推進
<ul style="list-style-type: none">● 東京証券会館の屋上において、(株)ユニバーサル園芸者、一般社団法人エディブル・スクールヤード・ジャパンと連携し、菜園を含む屋上ファームガーデンを整備。● 「食」についての持続可能な地域循環の実現と教育の実践、豊かな地域社会に向けた貢献に寄与する場。● 食育スクールである「アーススコーレ」を定期的に開催	<p>当社グループ全体の温室効果ガス(GHG)排出量を2025年度までに80%を削減（2018年度比）</p> <p>※温室効果ガス(GHG)排出量 =Scope1+Scope2</p> <p>借入総額 438億円 (2025年12月時点)</p>	<ul style="list-style-type: none">● サステナビリティ経営へのコミットメントをより強化することを目的として、評価型融資およびサステナビリティ・リンク・ローン（SLL）による資金調達を実施。● MUFG ESG 評価において、最高位である「業界をリードする ESG 経営」のSランクを取得し、株式会社三菱UFJ銀行と評価型融資の契約を締結。● SLLのサステナビリティ・リンクローン原則への適合等について、新生銀行によるSLLは、同行内で独立性を確保したサステナブルインパクト評価室が確認し、他行によるSLLは、株式会社日本格付研究所より第三者意見を取得。



5. 業績推移・株主還元・株主優待

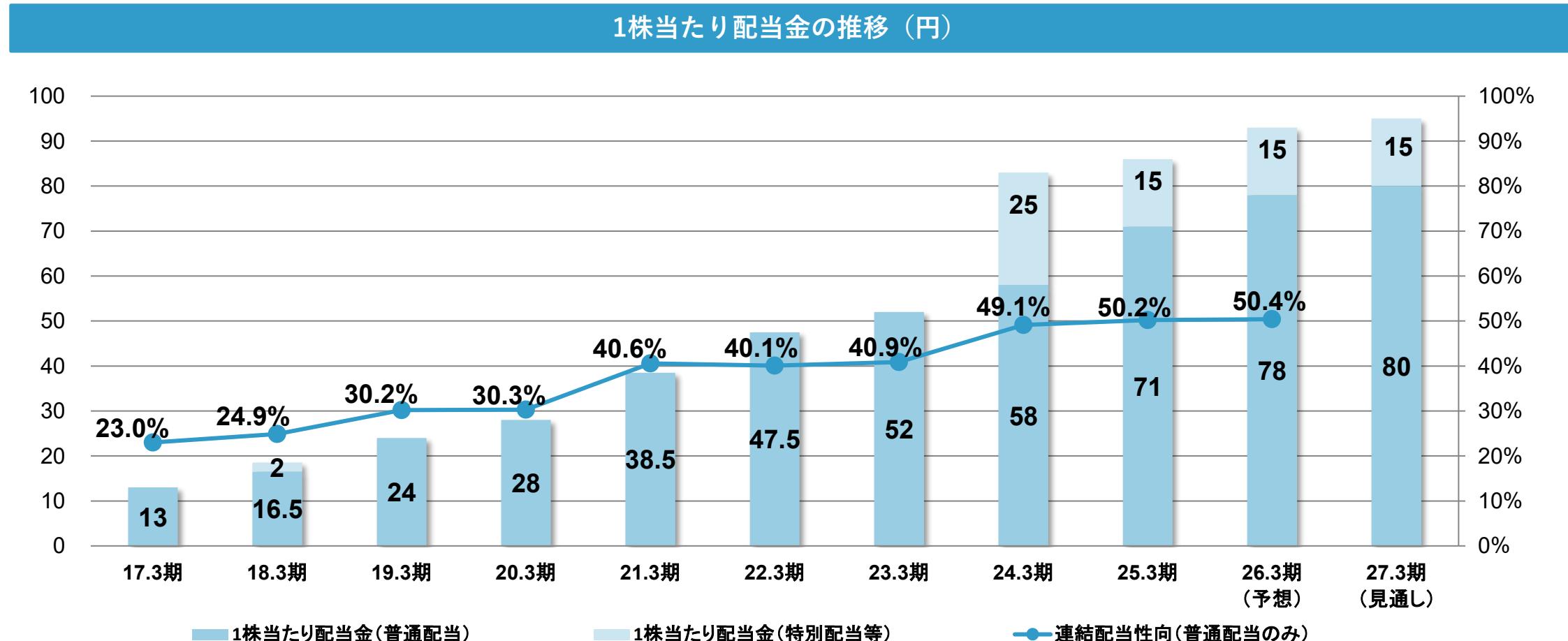
平和不動産グループの業績推移

連結営業利益の推移



株主還元

- 株主還元の方針は連結配当性向50%程度 + 機動的な自己株式取得。
- 2026年3月期の1株当たり配当金は年間93円予想（特別配当15円を含む）とし、9期連続の増配予想。
- 2026年3月期および2027年3月期においても特別配当を継続し、4期連続で特別配当を実施予定。

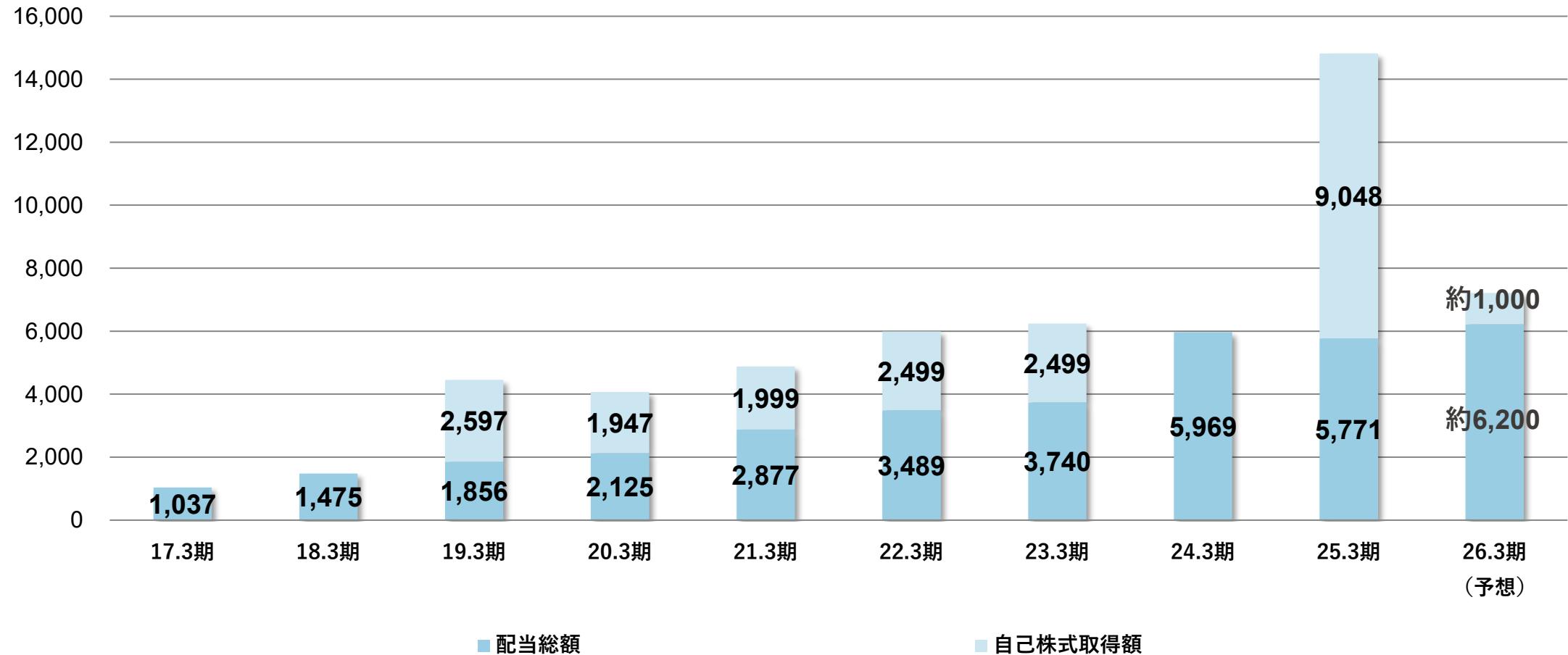


※ 当社は、2025年7月1日を効力発生日として、1株につき2株の割合で株式分割を実施したため、当該株式分割を考慮した金額を記載しております。

株主還元

- 自己株式取得については株価水準、投資計画および財務状況等を総合的に勘案し、機動的に実施する方針。
- 株主還元の基本方針に基づき、2024年6月には自己株式取得約90億円を機動的に実施。2026年1月には自己株式取得約10億円の実施を決定。

株主還元額の推移（百万円）



株主優待制度のご案内

- 株主の皆様の日頃のご支援に感謝を込めて、WEBカタログギフトの株主優待制度を設置。
- 2026年1月に株主優待制度を拡充。毎年3月末日に保有する株主様に6月下旬頃贈呈。

【株主優待】

	保有期間	
	3年未満	連続3年以上保有
200株（2単元）以上500株未満	4,000円相当（拡充）	5,000円相当（新設）
500株（5単元）以上	6,000円相当（拡充）	8,000円相当（拡充）

※ 電子カタログの内容は変更になる可能性があります。

※ 長期保有株主様とは、「連続3年以上保有している株主様」で、株主名簿基準日（3月31日および9月30日）の株主名簿に連続7回以上記載または記録された同一株主番号の株主様をいいます。



株主優待カード・カタログ



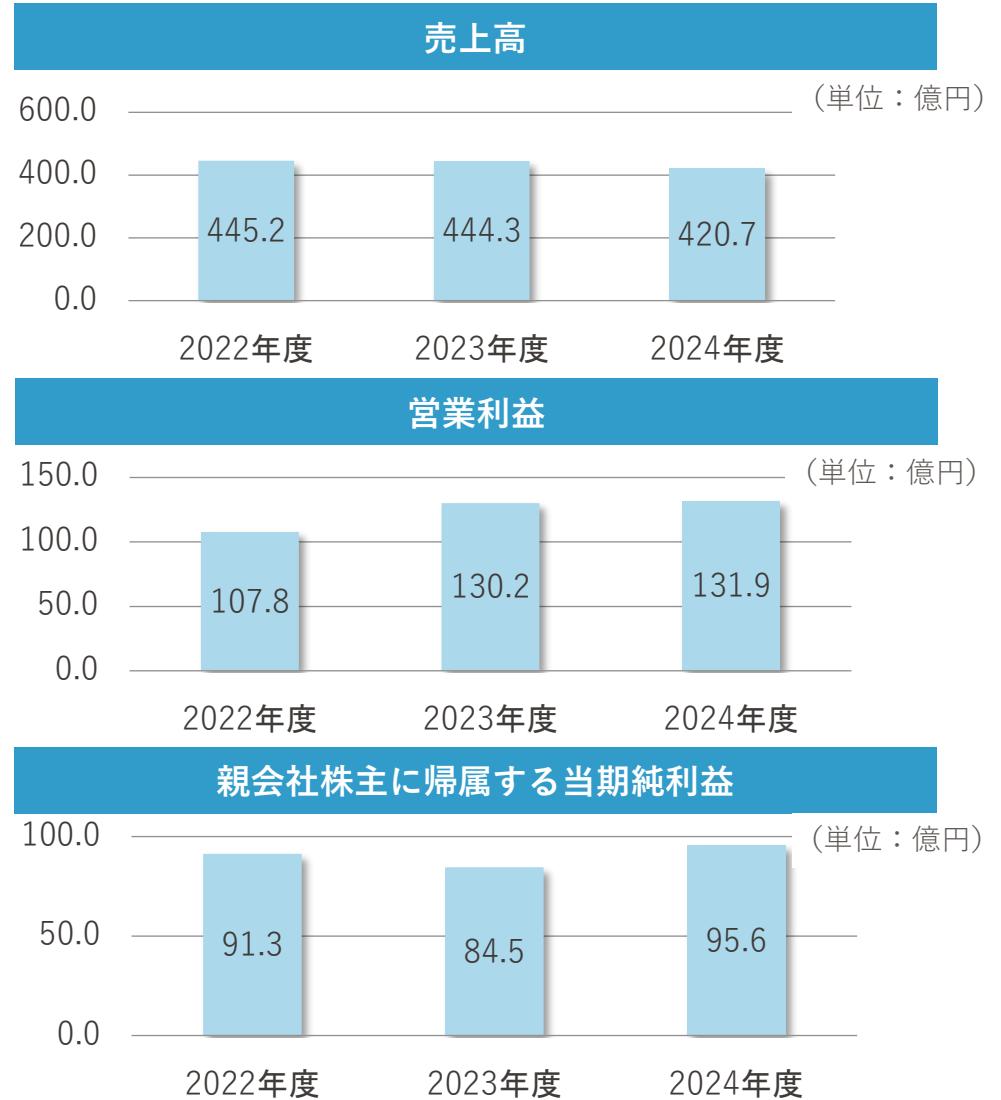
カタログギフト一例

Appendix

平和不動産について

- 平和不動産は全国の主要都市で再開発事業・ビル賃貸事業を展開する“Bazukuri Company”です。

商号	平和不動産株式会社 HEIWA REAL ESTATE CO.,LTD.
証券コード	8803
代表者	代表執行役社長 土本 清幸
所在地	東京都中央区日本橋兜町1番10号 日証館
支店	名古屋・大阪・福岡・札幌
設立	1947年（昭和22年）7月
資本金	214億92百万円（2025年3月31日現在）
従業員数	103名（単体）（2025年3月31日現在）
事業内容	1. ビルディング事業 2. アセットマネジメント事業



平和不動産の歩み vol.1

- 1947年 東京・大阪・名古屋をはじめ全国の証券取引所の建物を所有し、証券取引所に賃貸する会社として設立。
- 全国の証券取引所ビルを保有しつつ、ビルの建替え・新規取得により資産規模を拡大。
- 2002年の「道銀ビルディング」取得以降、札幌エリアにおいても事業を展開

1947～
証券の街を支えた
創業期

2000～
賃貸事業資産の拡大期
収益基盤を強化



旧東京証券取引所



大阪証券取引所
旧市場館



大阪証券取引所ビル
(大阪市)



セントライズ栄
(名古屋市)



旧道銀ビルディング
(札幌市)

平和不動産の歩み vol.2

- 2014年 当社の創業の地である日本橋兜町・茅場町にて、再開発事業を本格化。
- 日本橋兜町・茅場町の街づくりの実績を踏まえ、全国主要都市で再開発を計画。
- その第一弾として、札幌で2プロジェクトを推進。

2014～
「街づくりに貢献する会社へ」
次世代平和不動産への挑戦

2024～
“Bazukuri Company”として
新たな成長フェーズへ



KABUTO ONE
(東京都中央区)



K5
(東京都中央区)



FinGATE KABUTO
(東京都中央区)



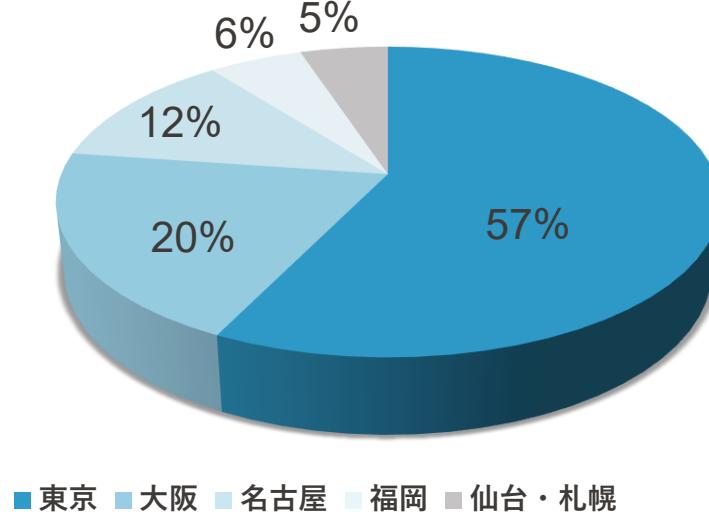
SAPPORO ONE
(大通西4南地区)
第一種市街地再開発事業
(札幌市)



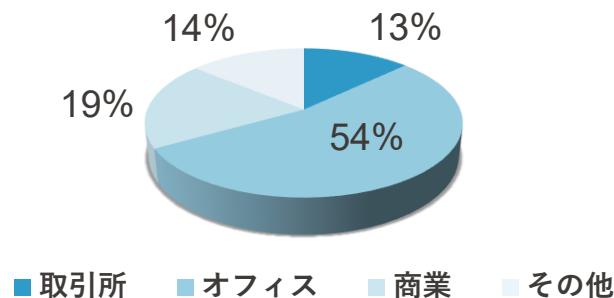
札幌駅南口北4西3地区
第一種市街地再開発事業
(札幌市)

賃貸収益の地域別・用途別割合、賃貸可能面積の地域別割合

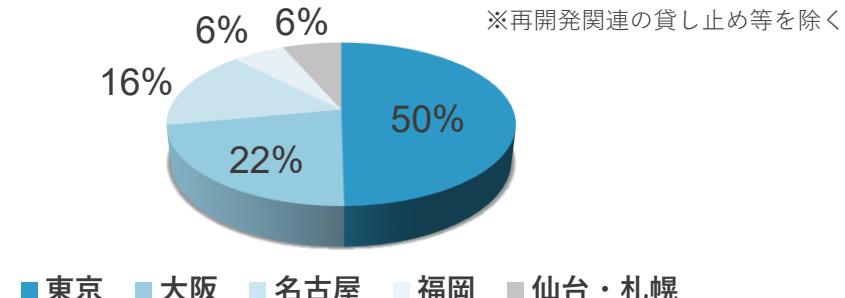
賃貸収益（140.2億円）の地域別割合（2025年4月～2025年9月）



賃貸収益（140.2億円）の用途別割合
(2025年4月～2025年9月)



ビル賃貸可能面積（35.9万m²）の地域別割合
(2025年9月末時点)



平和不動産の強み

- 全国の主要都市において、証券取引所ビル・オフィスビルを中心に資産を保有（2025年9月末時点）

The map highlights several cities across Japan, each associated with a cluster of buildings managed by Heiwa Real Estate:

- 【大阪エリア】**
大阪証券取引所ビル
大阪平和ビル
ホテルブライトンシティ大阪北浜
大阪御堂筋ビル
京都証券ビル
大丸京都店西館・北館共同ビル
- 【札幌エリア】**
平和不動産札幌駅東ビル
- 【福岡エリア】**
福岡証券ビル
福岡平和ビル
- 【名古屋エリア】**
名古屋証券取引所ビル
セントライズ栄
丸善名古屋本店ビル
伊勢町平和ビル
栄サンシティービル
平和不動産名古屋伏見ビル
平和不動産桜通ビル
- 【仙台エリア】**
一番町平和ビル
ソララプラザ
- 【東京エリア】**
東京証券取引所ビル
日証館
KABUTO ONE
兜町平和ビル
兜町第1平和ビル
兜町第5平和ビル (K5)
兜町第6平和ビル
兜町第7平和ビル
KITOKI
キャプション by Hyatt 兜町 東京
茅場町プロードスクエア

Photographs of the buildings are provided for each area:

- ホテルブライトンシティ 大阪北浜
- 大阪証券取引所ビル
- 福岡証券ビル
- セントライズ栄
- 札幌駅東ビル
- 東京証券取引所ビル
- KABUTO ONE
- 日証館

ORSUSシリーズの展開

- 2022年に賃貸レジデンスブランド「ORSUS（オルサス）」を立ち上げ以降、稼働中物件はシリーズ計15物件展開。
- 加えて大阪エリアにて1物件、新規開発を推進中。

ORSUS

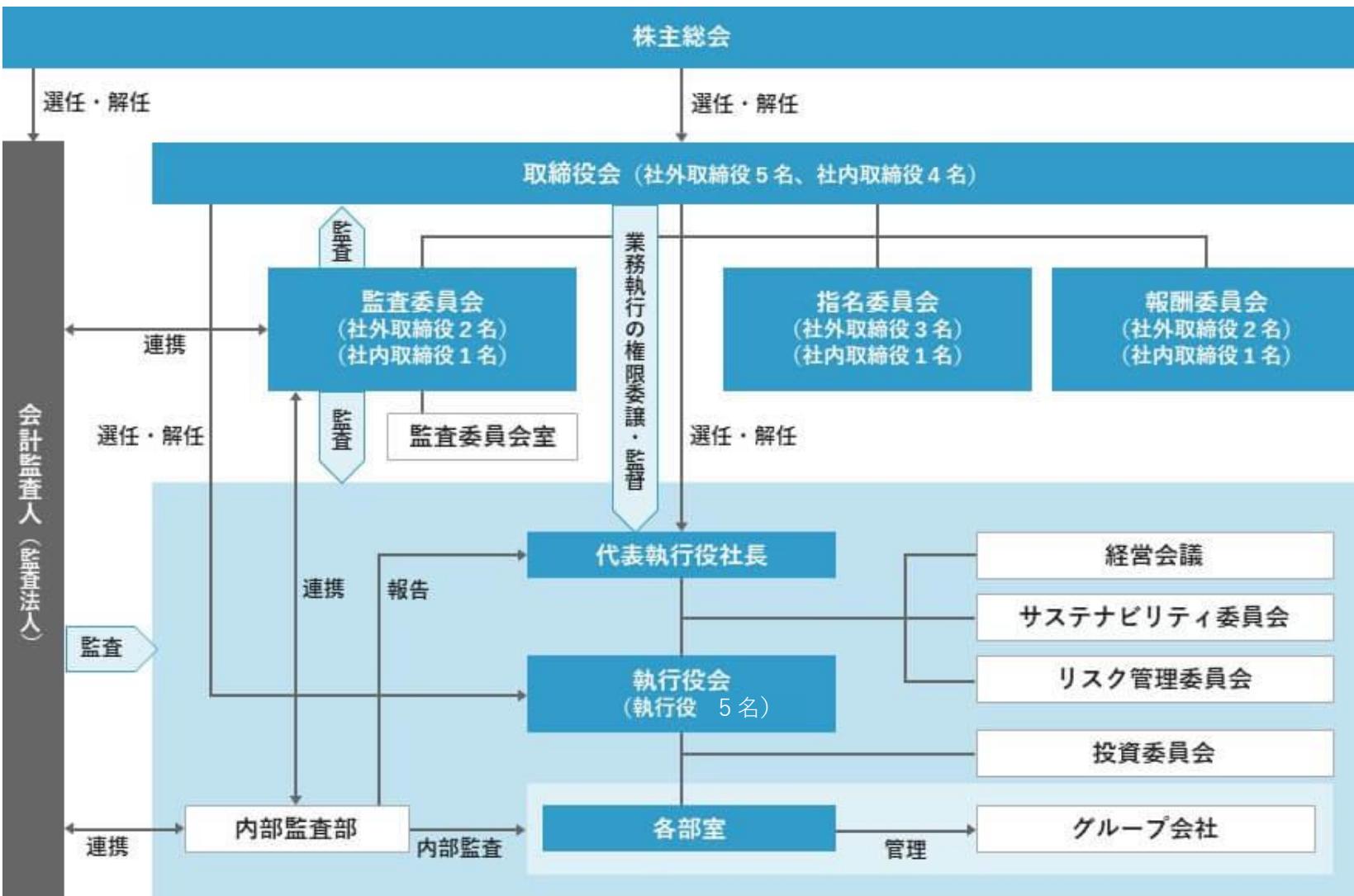
オルサス

<ORSUSシリーズ一覧>

※2026年1月末時点、面積は当社グループ持分

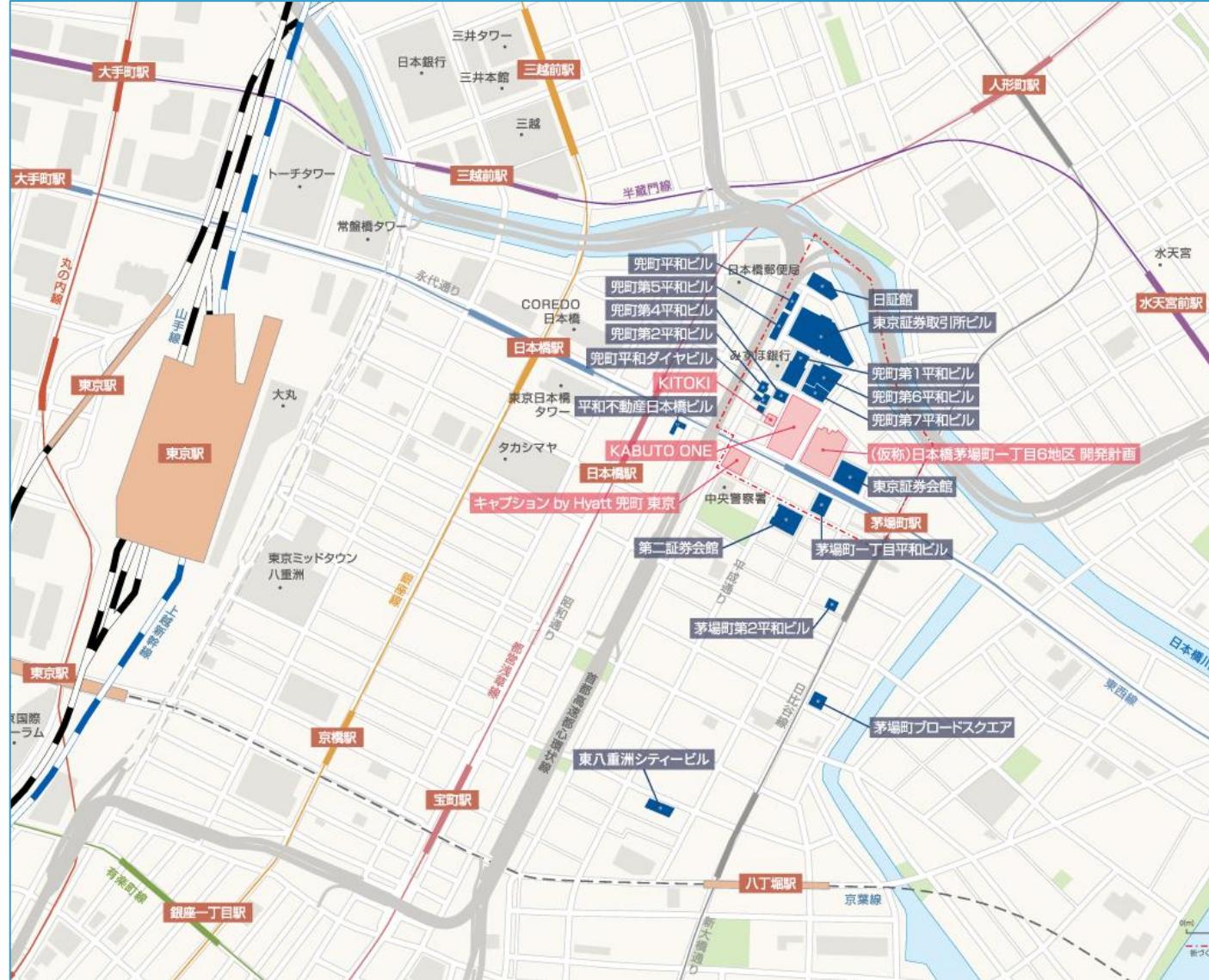
	稼働物件															開発中
	ORSUS 浅草	ORSUS 本所吾妻橋	ORSUS 梅島	ORSUS 中野	ORSUS 西日暮里	ORSUS 新江古田	ORSUS 大井町	ORSUS 赤羽イースト	ORSUS 大鳥居	ORSUS 戸越銀座	ORSUS 三ノ輪	ORSUS 新大阪	ORSUS 板橋本町	ORSUS 清澄白河 リバーフロント	ORSUS 志村坂上	
物件外観																—
所在地	東京都台東区	東京都墨田区	東京都足立区	東京都中野区	東京都荒川区	東京都練馬区	東京都品川区	東京都北区	東京都大田区	東京都品川区	東京都台東区	大阪府大阪市	東京都板橋区	東京都中央区	東京都板橋区	大阪府大阪市
延床面積 ()は戸数	1,457.28m ² (27戸)	1,285.94m ² (24戸)	3,859.93m ² (89戸)	999.51m ² (33戸)	1,176.84m ² (24戸)	2,644.57m ² (63戸)	969.45m ² (36戸)	2,241.13m ² (49戸)	3,876.43m ² (99戸)	3,586.40m ² (92戸)	2,949.61m ² (54戸)	4,038.59m ² (84戸)	1,303.38m ² (26戸)	1,549.12m ² (35戸)	3,228.31m ² (78戸)	6,969.98m ² (130戸)
竣工年月	2021年2月	2021年6月	2022年1月	2022年1月	2021年6月	2021年7月	2019年10月	2022年11月	2023年2月	2023年10月	2024年1月	2021年3月	2023年8月	2024年6月	2025年2月	2027年9月
取得年月	2021年2月	2021年9月	2022年1月	2022年4月	2022年9月	2022年9月	2022年10月	2022年12月	2023年2月	2023年10月	2024年1月	2023年12月	2024年3月	2024年11月	2025年2月	2027年9月

コーポレートガバナンスの状況（2025年6月末時点）



*詳細は<https://www.heiwa-net.co.jp/sustainability/governance/basic.html>参照。

保有資産マップ（東京エリア①）



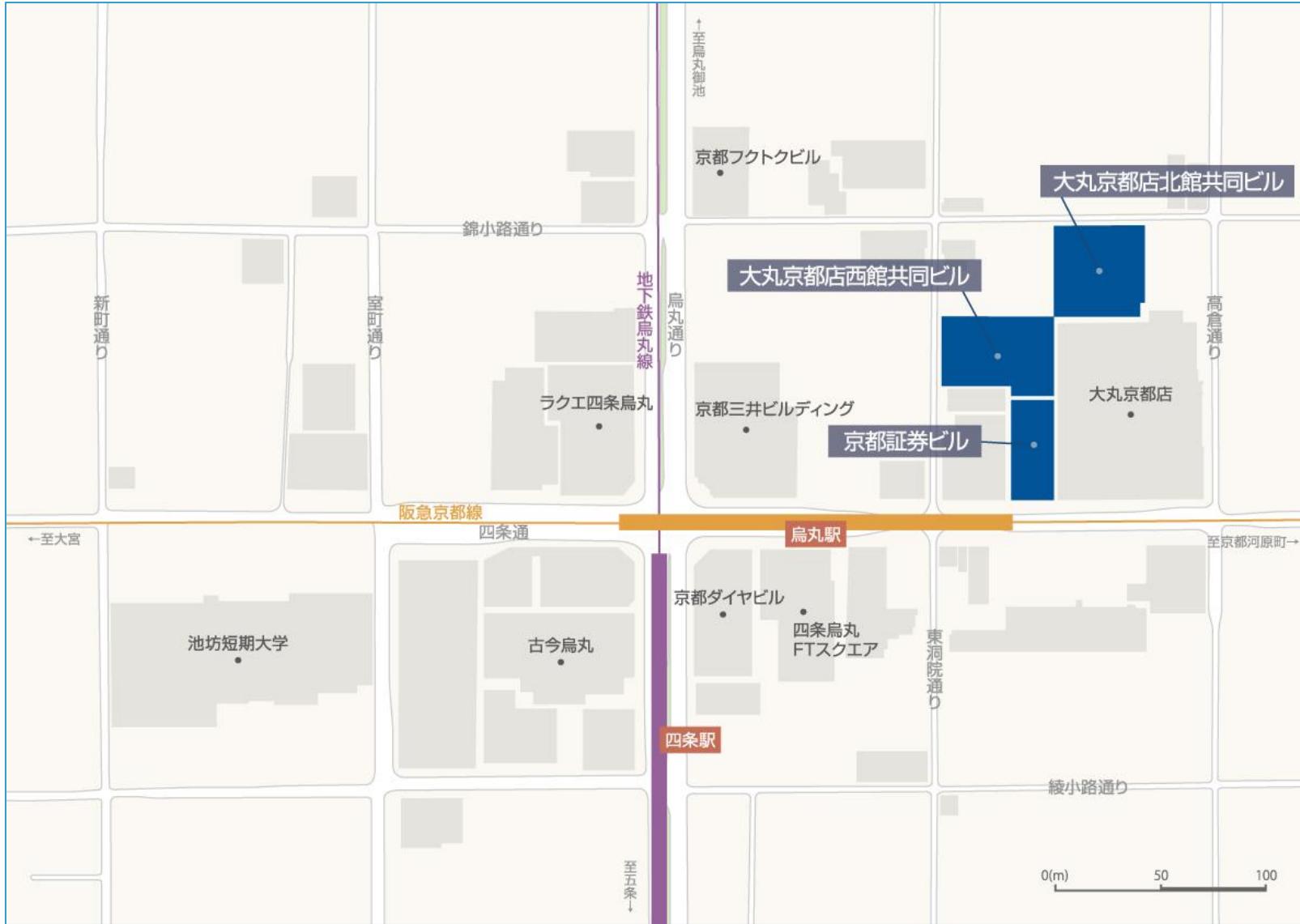
保有資産マップ（東京エリア②）



保有資産マップ（大阪エリア）



保有資産マップ（京都エリア）



保有資産マップ（名古屋エリア）



保有資産マップ（福岡エリア）



保有資産マップ（仙台エリア）



保有資産マップ（札幌エリア）



メモ欄 ご自由にお使いください



免責事項

1. 当説明資料は、投資勧誘を目的にしたものではありません。投資に関する最終決定は皆様自身のご判断において行われるようお願いいたします。
2. 当説明資料で掲載している情報のうち過去の歴史的事実以外のものは、一定の前提の下に作成した将来の見通しであり、また2026年2月2日現在で入手可能な情報に基づく当社の経営陣の判断に基づいております。従って、将来、実際に公表される業績等は種々の要素によって変動する可能性があります。当社は当資料を使用されたことにより生じるいかなる損害についても責任を負うものではありません。
3. 当社は、新たな情報や将来の事象により、当資料に掲載された将来の見通しが変更される場合がありますが当説明資料は更新されません。

人々を惹きつける場づくりで、未来に豊かさをもたらす